

浄泉寺に東チモールからのお客様がホームステイ

平成 26 年 9 月 12 日から 14 日

浄泉寺に東チモールからのお客様が 3 名来られました。この企画は「みやぎ大崎観光公社」の呼び掛けにより同国からの 25 名のうち 3 名を浄泉寺にて迎えることになりました。

この 3 名の方々は、教師、農業、音楽家（ギタリスト）を目指して現在東チモールの大学で勉強中とのこと、日本語も勉強しているとのこととで日常会話はある程度出来るので困るようなことはほとんど無く、彼らの日本に対して向ける真剣な眼差しには深く大きなものを感じました。

日程は 12 日～14 までの 2 泊 3 日で、12 日に浄泉寺にお迎えして家族と対面し先ずごあいさつ、お迎えする浄泉寺の家族は、住職夫妻、副住職夫妻と子供たちの 6 名、見たいものがあるということで早速向かったのが有備館向かいにある刀剣の美術館、手に取って見るわけにはいかないのだがかなりの興味を持ったようだ。

翌日は、毎朝 6 時半頃お寺にお詣りする檀徒の方々とお話したり、副住職の子供たちとサッカーに興じたりして交流を深め、夜には岩出山の伝統行事「政宗公まつり」の前夜祭を楽しみました。

そして最後の日、昨日と同様朝詣りの方々との話の中で「日本刀」の話が出たときに、彼らの関心がかかなりある様子なので、お詣りに来ていた一人が自宅に戻って日本刀（実際は模造で刀ではない）を持ってきて見せたところ大喜びでした。この日は「政宗公まつり」のメインの行事が組まれていたのですが、今回のツアーのセレモニーがあるとのことで見学することが出来ず、それが心残りとなってしまいました。

今回のホームステイを受けて楽しく交流できたことは本当に素晴らしいことで感無量。子供たちもお別れのときにはさびしそうな様子でした。またお会いすることを期待しつつ、さよならしました。



東チモールからのお客様 3 名



境内で副住職とその子供たちとサッカーに興じる





本堂で記念撮影



